

令和7年1月24日

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.280

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：矢作 武夫



新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会
平塚支部

支部長 磯田純一
〈日産車体株式会社〉



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素より当協会の運営、各種事業に対するご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

就任初年度の支部長には至らぬ点多々あったかと思いますが、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体ならびに会員事業場の皆様のご協力により、令和6年度の事業計画を推進することができました。重ねて御礼申し上げます。

ます。

さて、日本経済を取巻く環境として、国際社会ではロシアのウクライナ侵攻の長期化による原油価格の高騰および様々な物価の上昇が続いています。次にトランプ氏の米大統領返り咲きにより関税の大幅引き上げ等、日本経済への影響が大きく懸念されます。このような環境変化による雇用情勢の変化に対して、労務安全衛生を優先した対応が求められます。

また、平塚労働基準監督署管内(10月末現在)の死亡災害は前年同時期と同様に2件、休業災害については448件となっており前年同時期に対して-25件、およそ5%減少しています。第14次労働災害防止計画に基づき死亡災害の撲滅、労働災害の削減に向けて作業上の安全配慮だけでなく昨今、社会問題として取上げられることの多い、メンタル不調についても改善に向けた活動に取り組んでまいりたいと考えております。最後になりますが、会員事業場の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 多田 義信

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には、日頃より当署が推進する労働基準行政に格別の御理解と御協力をいただき心より感謝申し上げます。昨年は元旦に能登半島地震が発生するという衝撃的な始まりでした。

神奈川労働局管内では9月に下水管の耐震補強工事中の作業員2名が急な大雨で避難が間に合わず、流され死亡するという痛ましい災害が発生したことも記憶に新しいところです。

自然災害に関連して別の視点で個人的に印象に残ったのは、頻発する台風等に備えた鉄道の計画運休や空の便の欠航の多さでした。駅間での列車の立ち往生や運行中の被災、また、急な運行中止に伴う混乱を最小限に防ぎ、乗客の安全を最優先した対策といえるのでしょうか。ところが、あくまで自然災害に対する予防ですので、刻一刻と変化する台風の進路に対し、計画変更が繰り返され、利用者が振り回されたり、結果的にはそれほど影響はなく、計画運休自体が不要であったのではとされたりすることもありました。被害は最小限にとどめても、影響を受けた利用者の範囲や混乱もそれなりに大きくなり、賞賛の声とともに乱発・過剰との不満の声も上がりました。自然の驚異の前ではフェールセーフを極めようとするとは運行しないことが、最も安全側に立つことになるわけですが、予防と利便性のバランスを保つことの難しさを踏まえた上で、可能な限り安全側に立つべしという社会全体の共通認識が生まれることが望まれるところです。

企業は労働災害の防止対策として最も安全だからとして、一切の生産活動を行わないというわけにはいきません。法令や指針等に則り、雇用者を守りつつ、商品やサービスを生産し続けなければならない、常に安全衛生対策と安定供給を図る使命があります。

一方で円安・物価高が続いており、10月には神奈川県最低賃金は1162円と前年より50円引き上げられました。5年で150円引き上げられています。

このような中で、安全衛生対策に係る費用の捻出は益々厳しくなることが懸念されますが、問題が起こった際の受ける被害と与える被害はともに甚大になる可能性があることを肝に銘じて安全第一で取り組んでいただきたいと強く願うところです。

当署においてもその一助となれるよう法令、助成金制度の周知、労働環境の整備に向けた社会的な機運の醸成などの各種施策を実施して参りたいと思っております。

今年は第14次労働災害防止計画(5か年計画)の中間年となります。高齢労働者の労働災害の増加や転倒・腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けています。

昨年における神奈川労働局局内での労働災害発生状況を見ますと、令和6年10月末時点で死亡災害が29件、休業4日以上死傷災害は6178件となり、死傷災害は前年同期比で329件、5.6%の増加となりました。業種別では、建設業以外は増加しており、特に陸上貨物運送事業、社会福祉施設、小売業の増加幅が大きくなっています。

安全衛生管理体制の確立、効果的な安全衛生教育の実施等、自主的な安全衛生活動の促進及びリスクアセスメントの実施といった安全衛生活動の推進を図るには、事業者が労働者の協力を得て、一体的に取り組むことが重要ですので、当署としましてもきめ細やかな労働災害防止対策を推進してまいります。

引き続き皆様方の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の益々の御発展と無災害で幸多き年になりますことを祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和7年 年間標語

安全は働くみんなで作るもの 働くみんなを守るもの

安全衛生祈願

令和7年1月10日(金)、当協会の年頭恒例行事である安全衛生祈願が、秦野市の出雲大社相模分祠で行われました。

磯田支部長はじめ会員事業場から48名の方々、神奈川労働局より池内労働基準部長、平塚労働基準監督署より多田署長、空野安全衛生課長、当協会本部古屋専務理事が参加されました。

拝殿内では宮司様の祈願、巫女による舞、支部長、副支部長、部長及び来賓の方々による玉串奉奠を執り行い、参加者全員で今年1年の無事故・無災害を祈願しました。

安全衛生祈願後、経営首脳者セミナーが開催され、行政講演として池内労働基準部長から【労働行政を取り巻く情勢と神奈川労働局の取組等】の話がありました。特別講演としてフリーアナウンサー川手 耀さんから【アナウンサー直伝「伝えるから“伝わる”話し方】と題して印象アップの話し方やコミュニケーション向上方法を参加者全員で

の実践や、基礎となる正確な発音等を練習して『ラッキー! クッキー!ウイスキー!』を唱和し笑顔で講演を終えました。

その後、講演者を含めた皆様との賀詞交歓会が開かれ、名刺交換や意見交換等大いに盛り上がり、散会となりました。

富士フィルムワコーケミカル(株) 矢作 記



令和6年度 神奈川労務安全衛生大会 功労賞 表彰者

(敬称略)

No.	事業場名	氏名
1	平塚金属工業株式会社	小久保 明 和
2	株式会社K E L K	西久保 明 洋
3	横浜ゴム株式会社 本社・平塚製造所	角 田 記 清
4	日産車体株式会社	水 迫 義 男
5	株式会社N I T T A N	安 池 眞



おめでとうございます。
神奈川大会(11/27)にて労務安全衛生功労賞を受賞された皆様です。左から西久保さん、小久保さん、水迫さん、安池さん、角田さん



これからも皆様とともに

日本クロージャー(株)平塚工場 健康支援室 山田 成美

新年あけましておめでとうございます。皆様、健やかに
お過ごしのことと思います。

お仕事では従業員の健康にも気を配り、様々な活動に取り
組む一年が始まりました。

産業保健活動において、健康経営銘柄や健康優良法人の
認定準備を進めている事業所も多くなってきています。健
康づくりイベントや健診項目の拡充といった取り組みを、
今までの活動に加えて実施していくなど産業保健に期待さ
れることが年々増えています。

今後、IT化が進む中、活動の可視化が求められ支援の
在り方も変わっていくことでしょう。

時代とともに変容しなければならないもの、一方で普遍的
なものを見極め、対応していかなければと感じています。

労安協を通じて、労基署を始めとする様々な企業の方々
との情報交換や交流、連携をさせていただけることは、と
ても貴重な場と感じています。

これからも、益々発展していった欲しいと願っています。
そして、健やかな一年になりますように。



雑感

『視力の変化』

エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株) 森泉 武人

50歳を手前に、ここ数年、老眼を自覚するようになりました。元々、視力は良くメガネをかけた経験がありません。そのため、老眼と認識するまでに抵抗感がかなりありました。スマホを見るたびにかすれて見えており、距離を調整することで内容を確認していました。

まさに老眼という症状なのに、「スマホの見過ぎで目が疲れているのかな?」と考えたり、昔と比べて画面(PC、スマホ、テレビ)を見る機会が極端に増えたことを原因としていました。ある休日に百円ショップで売られていた老眼鏡の安さにつられ、まさかと思いつきながら購入し、スマホの画面を見たところ、大げさかもしれませんが驚愕しました。いままで、ピントを合わせるために目を凝らしたり、距離を調整していましたが、老眼鏡をかけることで何も気にすることなく、ピントを合わせる事が出来、開放感を感じました。とは言え、メガネをかける習慣が

無い私からすると、老眼鏡を持ち歩くことは未だにできず(いつも家の机に置きっぱなし)、相変わらず苦勞しながら資料やスマホを見る生活を送っています。

このままではと思い、改善するために容易にできる対策はないかスマホで調べたところ、数多くの対策が出てきました。まず老眼に対する説明があり、簡単に言うと『加齢に伴って目の調節機能が衰え、近くのものにピントが合いにくくなる』『老眼は老化による症状なので、誰にでも表われる現象』と何を見ても同じことが記載されていました。

対策としてサプリや目薬など、悩むほど様々なものが市販されていましたが自分の力だと思い、目のピント調節機能を働かせるために、10分ほど目のストレッチを行っています。

目の運動を継続して、可能な限り老眼鏡の不要な生活が維持できるよう頑張ります。

安全部会講習『自律的な化学物質管理の具体的な対応について』

10月22日(火曜日)に平塚市勤労会館 2階 中会議室において、午後2時から安全部会の講習が開催されました。講習内容の「職場における新たな化学物質規制」に関心が高かったのか、受講者人数は32人でした。まず、最初に労働安全コンサルタントの田村様の“受動喫煙防止について”の講演が行われました。非喫煙者が暴露する副流煙は、喫煙者が吸い込む主流煙よりニコチン等の有害成分は多く含まれているそうです。このことから、受動喫煙防止に努める必要があることがわかります。

次に、職場における受動喫煙防止対策の事例についての講習が行われました。つづいて、中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター副所長の構 健一様から「職場における新たな化学物質規制」についての講習が行われました。いままでは、規則により行なわれていた化学物質管理が各事業場の自律的管理により実施するように改正されました。

背景には、印刷会社で発生した胆管がんの原因が当時規制されていなかったインキの洗浄剤だと判明したことにより、物質を限定的に示して規制する方法に限界があるので、各事業場で管理方法を決めて自律的に管理することに変更されています。新しい化学物質の管理に関しての講習でしたので、皆さん真剣に受講されていました。(株)山川機械製作所 麻生 記



編集後記

令和7年、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、能登半島地震から始まり、夏場の記録的な猛暑・台風や線状降水帯による水害など各地で自然の猛威に晒された1年となりました。

また、10月の衆議院選挙で与党は過半数割れに、その後の米大統領選挙では当初は”もしトラ”と言われ再選の可能性が低いであろう扱いであったトランプ氏が当選という結果となりました。政治においては、少し前まで有利だと思われていた側が信を失うという、大きな変化を求める世論が反映された形となりました。民意としては、急激なインフレによる生活不安・ウクライナや中東を始めとする情勢不安を強く感じ、ネガティブ

な雰囲気が世界中に広がっていたものと思われます。

一方、パリ五輪・大リーグ大谷選手の活躍・横浜DeNAベイスターズの下剋上日本一などの盛り上がる要素がスポーツ界を中心にありましたが、社会全体で見ると先行き不安な波乱含みの1年であったような気がします(令和の米騒動もありましたね)。

日米の選挙結果を受け、今年に変化の多い激動の1年になるうかと思えます。生活向上のための変化は大いに期待するところですが、安全成績に関しては安定的に無災害を継続させたいですね。「一年の計は元旦にあり」です。気持ちを新たにスタートしましょう!!! (株)KMCT 菊地 記